

令和2年度 数学科 授業充実（改善推進）プラン

昨年度のプランの検証

苦手分野において既習内容の振り返りを行いながら授業の導入に繋げた結果、基礎・基本の定着を図れた。また、教え合い学び合いの活動を通して、様々な考え・解法を知り、自分の考えと比較することでよりよい方法を導き出そうと努力した。また、ひき続き、単元ごとの確認テストや復習の時間を確保したことで技能の向上が見られ、それによる達成感からさらに意欲・関心が高まっている。

数学科における調査結果の分析

内容別結果の分析	<p>【1学年】 小数・分数の計算の分野、単位量当たりの大きさ・平均の分野、文字と式の分野で全国平均を上回っているが、それ以外の分野では全国平均を下回っている。</p> <p>【2学年】 資料の散らばりと代表値の分野で全国平均を下回っているほかは全国平均を上回っている。</p> <p>【3学年】 どの分野においても、全国平均を下回っている。</p>
観点別結果の分析	<p>【1学年】 数学的な見方や考え方の観点で全国平均を上回っているが、それ以外の観点では、全国平均を下回っている。</p> <p>【2学年】 数学的な技能の観点で全国平均を上回っているが、それ以外の観点では、全国平均を下回っている。</p> <p>【3学年】 どの観点においても、全国平均を下回っている。</p>

調査結果に基づいた授業改善のポイント

数学への関心・意欲を高めるために、授業の導入の工夫を行い、各学年の苦手分野において既習内容を振り返る。さらに単元テストや小テストで基礎・基本の定着を図る。また、生徒同士の教え合い学び合いの活動を通して、様々な考え・解法を知り、応用力を身に付けさせる。

【1学年】

- 小学生時に履修した分野を不得意としている生徒がいるので、履修済みの事項を習熟度別クラスで復習させ、授業への遅れがでないように指導していく。

【2学年】

- 少人数授業により個別指導の場面を増やし、基礎・基本の定着を図る。できている生徒には生徒同士の教え合い学び合いの活動を通して、様々な考え・解法を知り、応用力を身に付けさせる。

【3学年】

- 1、2年学習内容の復習なども取り入れながら基礎・基本の定着を図ることで、数学への関心・意欲を高めていく。

授業改善策

* 教員の指導力の向上とともに、生徒個々の状況を更に検討し、生徒が意欲的に授業に参加できるように努める。

【1学年】

- 「数学への関心・意欲・態度」、「数学的な見方や考え方」を高めるために、授業の導入の仕方、教材の内容に工夫を加える。

【2学年】

- 「数学への関心・意欲・態度」、「数学的な見方や考え方」を高めるために、解法について話し合う時間を設け、思考力を身に付けさせる。

【3学年】

- 「数学への関心・意欲・態度」、「数学的な技能」を高めるために復習を適宜取り入れながら、教材の内容に工夫を加える。

